

4月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/31 2月鉱工業指数(8:50) 2月住宅着工統計(14:00) (米)3月シカゴPMI (欧)3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) 2月毎月勤労統計(10:30) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)3月ISM製造業景気指数 (米)12月建設支出 ※(米)3月自動車販売 (欧)2月失業率 (欧・独・仏・英)3月製造業PMI(確) (独)3月失業率 (豪州)金融政策決定会合	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50) (米)2月製造業受注 ※(ワシントン)金融政策決定会合	3 10年物価連動国債 (米)3月ISM非製造業指数 (米)2月貿易収支 (欧)ECB理事会 (欧)2月小売売上高 (欧・独・仏・英)3月サービス業PMI(確)	4 2月家計消費状況調査(14:00) (米)3月雇用統計 (独)2月製造業受注
7 2月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～8日) (米)2月消費者信用残高 (独)2月鉱工業生産	8 2月国際収支(8:50) 3月景気ウォッチャー調査 日銀総裁定例記者会見 (仏)2月貿易収支 (英)2月鉱工業生産 (インドネシア)金融政策決定会合	9 4月金融経済月報(14:00) (米)FOMC議事録 (米)2月卸売在庫 (独)2月貿易収支 (英)2月貿易収支	10 3月貸出・預金動向(8:50) 2月機械受注統計(8:50) (米)3月輸入物価 (米)3月財政収支 (欧)4月ECB月報 (仏)3月消費者物価 (仏)2月鉱工業生産 (英)BOE金融政策決定会合 (韓国)金融政策決定会合 ※(シンガポール)1～3月期GDP(速)	11 3月企業物価(8:50) 3月マネーストック(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(3月10,11日分)(8:50) 2月特定サービス産業動態統計調査(13:30) ※4月月例経済報告 30年利付国債 (米)4月ミシガン大消費者センチ(速) (米)3月生産者物価 (独)3月消費者物価(確)
14 2月商業販売統計・確(13:30) (米)3月小売売上高 (米)2月企業在庫 (欧)2月鉱工業生産	15 5年利付国債 (米)3月消費者物価 (米)4月NY連銀指数 (欧)2月貿易収支 (独)4月ZEW景況感 (英)3月消費者物価	16 2月鉱工業指数・確(13:30) ※2月建設総合統計(14:00) (米)ベージュブック (米)3月鉱工業生産 (米)3月住宅着工件数 (米)3月建設許可件数 (欧)3月消費者物価(確) (英)3月失業率 (中国)1～3月期GDP ※(ワシントン)金融政策決定会合	17 4月ロイター短観(8:30) 3月消費動向調査(14:00) ※3月全国百貨店売上高(14:30) 20年利付国債 (米)4月フィラ連銀指数	18 ※4月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 2月第3次産業活動指数(8:50) 2月毎月勤労統計・確(10:30) (米)3月景気先行指数
21 3月貿易統計(8:50) 2月景気動向指数改訂(14:00) ※3月チェーンストア販売統計(14:00) 3月コンビニエンスストア7統計(16:00)	22 (米)2月FHFA住宅価格指数 (米)3月中古住宅販売件数 (欧)2月建設支出	23 (米)3月新築住宅販売件数 (欧・独・仏)4月製造業PMI(速) (欧・独・仏)4月サービス業PMI(速) (英)金融政策会合議事録 (ニュージーランド)金融政策委員会 (タイ)金融政策決定会合	24 3月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (米)3月耐久財受注 (独)4月Ifo景況感指数 (仏)4月INSEE企業景況感 (韓国)1～3月期GDP(速) (トルコ)金融政策決定会合	25 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 2月全産業活動指数(13:30) (米)3月シカゴPMI (英)3月小売売上高 (メキシコ)金融政策決定会合
28 3月商業販売統計(8:50) 3月投入・産出物価指数(8:50) ※(英)4月ネーションワイド住宅価格	29 (米)4月CB消費者信頼感指数 (米)2月S&Pケース・シラー住宅価格 (欧)3月M3 (欧)4月経済信頼感 (独)4月消費者物価(速) (英)1～3月期GDP(速)	30 3月鉱工業指数(8:50) 3月毎月勤労統計(10:30) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 金融政策決定会合 日銀総裁定例記者会見 (米)FOMC (米)1～3月期GDP(速) (米)4月シカゴPMI (欧)4月消費者物価(速) (独)4月失業率 (仏)3月消費支出 (台湾)1～3月期GDP(速)	5/1 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)3月個人所得・消費 (米)4月ISM製造業指数 (米)3月建設支出 ※(米)4月自動車販売台数 (英)4月製造業PMI	2 3月家計調査(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 4月マネタリーベース(8:50) (米)4月雇用統計 (米)3月製造業受注 (欧)3月失業率 (欧・独・仏)4月製造業PMI(確)

(備考) 各種情報ベンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@dlri.dai-ichi-life.co.jp までお寄せ下さい。

編集後記

経常収支の赤字が続き、1年で20円近い円安になったにもかかわらず思いのほか増えてこない輸出、貿易赤字の定着といったところに改めて注目が集まっている。輸出の伸び悩みは、新興国の景気回復の遅れが要因であり円安に伴うJカーブ効果はこれから出てくる。輸入の拡大は円安要因に加え原発停止に伴うLNGの輸入拡大、スマートフォンの輸入急増、消費税上げ前の駆け込みと一時的な要因が多いと説明されることがある。

一時的な要因で輸入が膨らんでいるのは事実であり、Jカーブ効果もさすがに今後は出てくるだろう。足元の動きだけで経常収支の赤字はもう定着だとか日本衰退論を声高に言うは言い過ぎだ。経常収支が黒字赤字で、どちらかは○どちらかは×という単純な話ではない。

ただこれまでの経験則が通用しない局面で明確な一時的な要因がある場合、その一時的要因に原因を求めて本質的な変化を見落とすこともある。経済は人の行動の集大成であり複雑である。単純な二元論で納得せず本質を見極める努力を続けたい。(H. S)